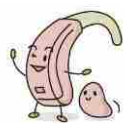


聴能だより



令和7年7月18日発行
新潟よつば学園 聴能部



聴能週間がありました！



今年度の聴能週間は、6月中に学部ごとに期間を決めて取り組みました。いろいろな活動を通して、自分の聞こえや耳を大切に、補聴器・人工内耳のことを自分で理解して管理できるようになってほしいと思います。



幼稚園部

幼稚園部では、補聴器や人工内耳を大切にできるよう、集会活動の中で使い方の約束を聞いたり、皆で〇×クイズをしたりしました。「汗をかいたときは、拭いているよ。」「ぬれると壊れちゃうよね。」など、家庭や学校で教えてもらったことをよく覚えており、自信をもって答えていました。

聴能週間の期間は「みみのカード」で使い方の約束が守れたか毎日チェックし、補聴器や人工内耳を大切にしよう意識を高めました。

4歳児は、日常生活の中で遊んで汗をかいた後、自ら補聴器や人工内耳を拭いて手入れしていました。5歳児は学級の時間に人工内耳の部位の名前をクイズにして確認し、改めて自分の使っている人工内耳をじっくり見つめる良い機会となりました。



小学部

今回、小学部では、補聴器・人工内耳の手入れに関するチェックリストを用意し、担任と一緒に改めて自分の機器の状態を確認しました。子どもたちは、普段から自分で手入れをしているので、慣れた様子でスムーズに確認していました。

聴能週間中の児童集会では、機器の部位の名称クイズに挑戦後、「本当にあった大ピンチ」として、「(機器の) 音が出ない」「電池が取れない」「イヤモールドにひびが入った」などの場面を取り上げ、それぞれ適切な扱い方や対処法を確認しました。「機器の外し方」「電池の正しい入れ方」「ぬれた時の対処法」など、子どもたちはしっかり覚えて、集会後、早速気を付けて機器を扱う姿が見られました。



【本当にあった大ピンチ！】

- ①「音が出ない！」
- ②「イヤモールドにひび！」
- ③「電池がとれない！」
- ④「急な雨でぬれた！」
- ⑤「休日、家で外している？」



中・高等部

中・高等部合同で行った授業は、「補聴器(本体)の値段がいくら分かりますか?」という質問から始まりました。補聴器(本体)だけでなく、その他の消耗品にもお金がかかること、学校を卒業した後は自分でそれらのお金を払っていくこと…など学習し、学校卒業後の生活を意識することができたと思います。また、少しでも補聴器や人工内耳を良い状態で使い続けるために、改めて手入れのしかたや扱い方を確認しました。やり方は知っているけど、その理由までは知らなかったり、ダメだと知っているけど、ついついそのやり方をしてしまったり…と補聴器や人工内耳の扱い方を見直す良いきっかけになりました。

期間中にクリーニングセットとチェックリストを各学級に回して、補聴器や人工内耳のクリーニングに取り組みました。イヤモールドやチューブをチェックすると、不具合があった生徒が数人いました。チューブや乾燥剤は定期的に交換が必要です。中高生になると、自分自身で補聴器や人工内耳を管理していると思いますが、時々ご家庭でも確認をお願いします。



アンケートのご協力ありがとうございました！

聴能週間のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。ほとんどのご家庭で、機器の乾燥やイヤモールドの洗浄などが丁寧に行われていることが分かりました。ロジャーやミニマイクロホンの使用場面として、「ショッピングモールなど周りがにぎやかで聞き取りにくい時」「保育園」「公園で遊ぶなど親子で距離がある時」「地域の幼稚園」や「居住地校交流で」、「テレビを見る時」など、工夫して使われていることが分かり、参考になりました。

補聴機器の日常の手入れをお子さんが一人でできるようになるために、発達段階に応じて最初は保護者の皆さんと一緒にできるところから始めてみてください。小学部高学年くらいには、聞こえに関する大切な道具を、自分で手入れすることが習慣化されると良いですね。引き続きご協力をお願いいたします。



補聴器店 お盆期間のお休み

【エイド】

8/13(水)～8/15(金)

【プレヒア】

8/10(日)～8/15(金)

【マキチエ】

8/9(土)～8/17(日)

ご確認ください。